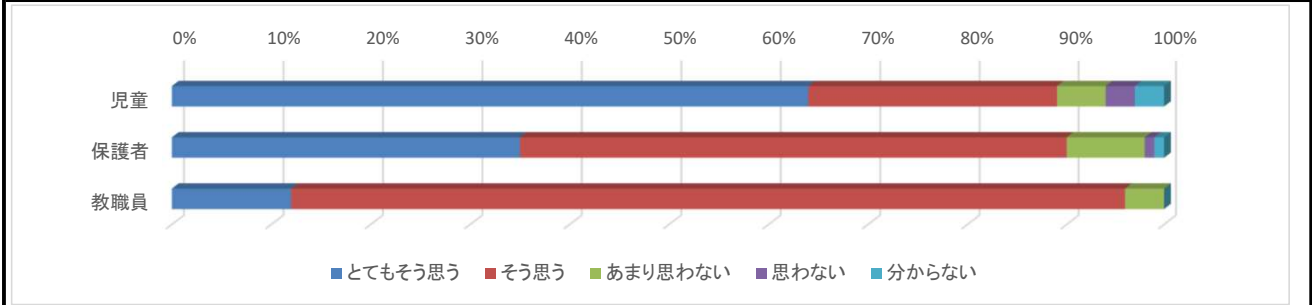


令和4年 鷹岡小学校 前期 学校評価まとめ

1 学校生活全般について

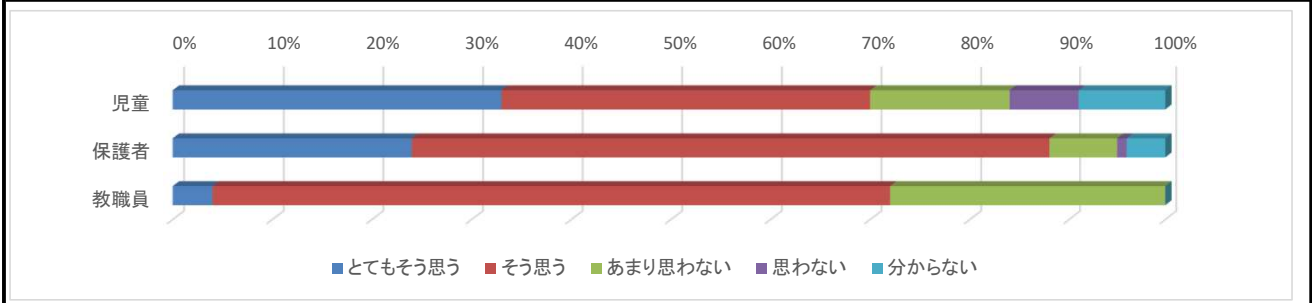
①【保護者】【教職員】子供は、学校に楽しく通っている。
【児童】学校は楽しい。

	とてもそう思う	そう思う	あまり思わない	思わない	分からない
児童	64%	25%	5%	3%	3%
保護者	35%	55%	8%	1%	1%
教職員	12%	84%	4%	0%	0%



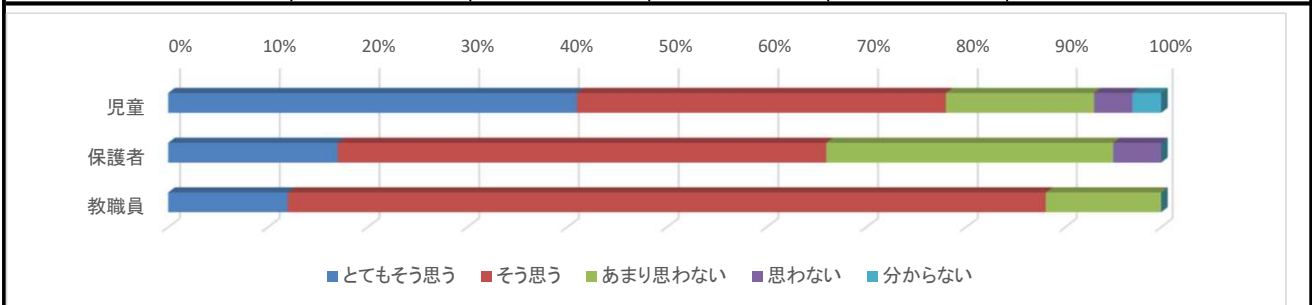
②【保護者】【教職員】子供は、自分にはよいところがあると思っている。
【児童】自分には、よいところがあると思う。

	とてもそう思う	そう思う	あまり思わない	思わない	分からない
児童	33%	37%	14%	7%	9%
保護者	24%	64%	7%	1%	4%
教職員	4%	68%	28%	0%	0%



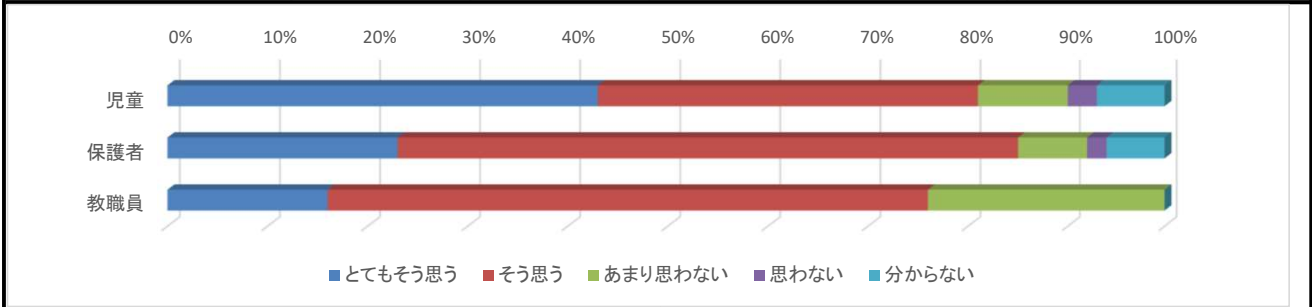
③【保護者】【職員】子供は、普段から進んで学習や運動をしようとしている。
【児童】進んで、勉強や運動をしている。

	とてもそう思う	そう思う	あまり思わない	思わない	分からない
児童	41%	37%	15%	4%	3%
保護者	17%	49%	29%	5%	0%
教職員	12%	76%	12%	0%	0%



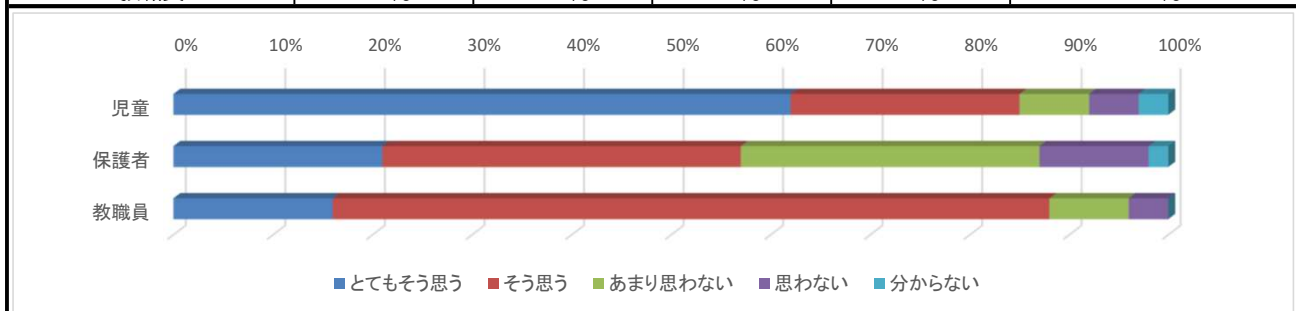
④【保護者】【職員】子供は、友達の思いを受け止めたり、優しく声を掛けたりすることができる。
【児童】友達の気持ちを考えて、優しく言葉を掛けたりすることができる。

	とてもそう思う	そう思う	あまり思わない	思わない	分からない
児童	43%	38%	9%	3%	7%
保護者	23%	62%	7%	2%	6%
教職員	16%	60%	24%	0%	0%



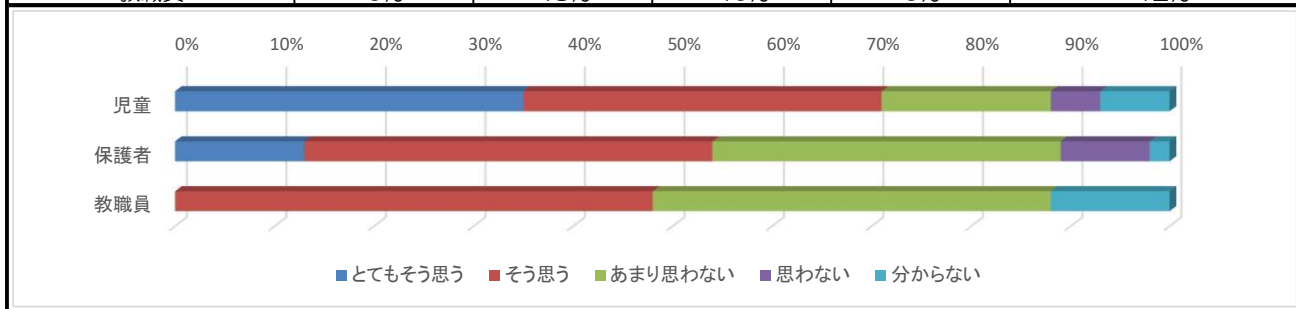
⑤【保護者】【教職員】子供は、読書を楽しんでいる。
【児童】読書は楽しい。

	とてもそう思う	そう思う	あまり思わない	思わない	分からない
児童	62%	23%	7%	5%	3%
保護者	21%	36%	30%	11%	2%
教職員	16%	72%	8%	4%	0%



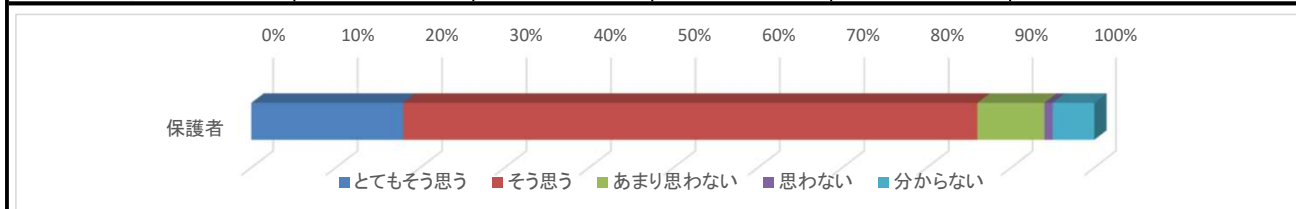
⑥【保護者】【教職員】子供は、家庭学習を工夫して頑張っている。
【児童】家での学習を工夫して頑張っている。

	とてもそう思う	そう思う	あまり思わない	思わない	分からない
児童	35%	36%	17%	5%	7%
保護者	13%	41%	35%	9%	2%
教職員	0%	48%	40%	0%	12%



⑦【保護者】鷹岡小は、安心して子供を任せられる学校である。

	とてもそう思う	そう思う	あまり思わない	思わない	分からない
保護者	18%	68%	8%	1%	5%



〈考察〉

昨年度に引き続き、設問①「学校は楽しい（子供は、学校は楽しいと思っている）」の肯定的な回答（とてもそう思う・そう思う）が児童・保護者・教職員ともに高い結果を示しています。また、本年度から保護者アンケートに追加しました設問⑦「鷹岡小は、安心して子供を任せられる学校である。」についても、高い評価をいただいています。まだまだ、コロナウイルス感染症の影響により様々な制限がありますが、子供たちにとって鷹岡小学校が楽しい居場所になっており、それが子供たちの言葉や表情からご家庭にも伝わっていることが分かりとてもうれしく感じています。今後も、鷹岡小学校に通うすべての子供が楽しいと感じられる学校を目指していきます。

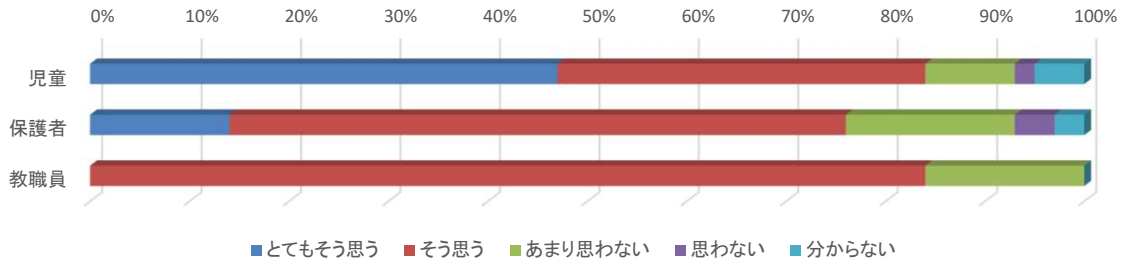
一方で、昨年度から本校の課題として捉えている設問②「自分には、よいところがある」の児童の回答については、残念ながら昨年度同様やや低めの評価となりました。本校では、重点目標「進んで行動 やさしい言葉」に向けて、いろいろなことに進んでチャレンジできるよう励まし合ったり、仲間の頑張りややさしい言葉で応援し合ったりすることを通して、子供たちの自己肯定感を育てていきたいと考え、取組を進めているところです。なかなかすぐに成果が表れるものではないと思いますが、引き続き子供一人一人のよさをしっかり認め、伝えていきたいと思えます。ご家庭でも、温かな声掛けをお願いいたします。

また、設問⑥の家庭学習についても、やや課題と感じています。家庭学習につきましても、本校では学年が上がるごとに「自主学習」の割合を高めています。自主学習には、「こんなことをやってみよう」という学習意欲だけでなく、「不思議だな」「他にはどうかな」と問題を発見する力や「自分はどこが分からないのかな」「こうしてみたらどうかな」と自己調整する力などを養っていくねらいがあります。少しずつ、学習の仕方を覚え、学びを楽しめるようになってほしいと願っています。学校でも、発達段階に応じながら、学習の進め方を指導してまいります。ご家庭でも温かく見守り励ましていただくと幸いです。

2 学習面について

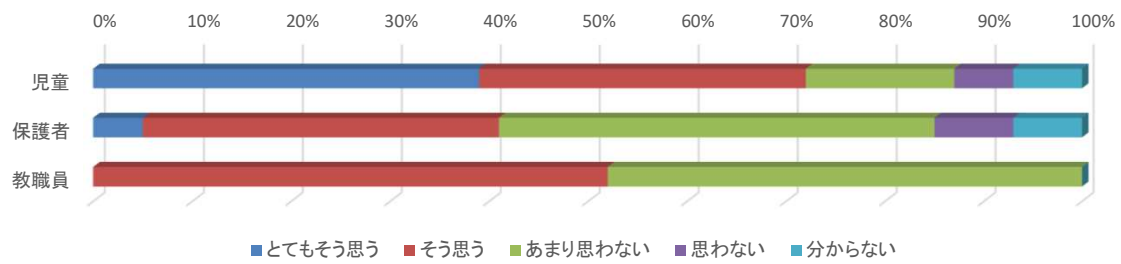
⑧【保護者】【教職員】子供は、授業で勉強したことが分かっている。
【児童】授業で学習したことがわかる。

	とてもそう思う	そう思う	あまり思わない	思わない	分からない
児童	47%	37%	9%	2%	5%
保護者	14%	62%	17%	4%	3%
教職員	0%	84%	16%	0%	0%



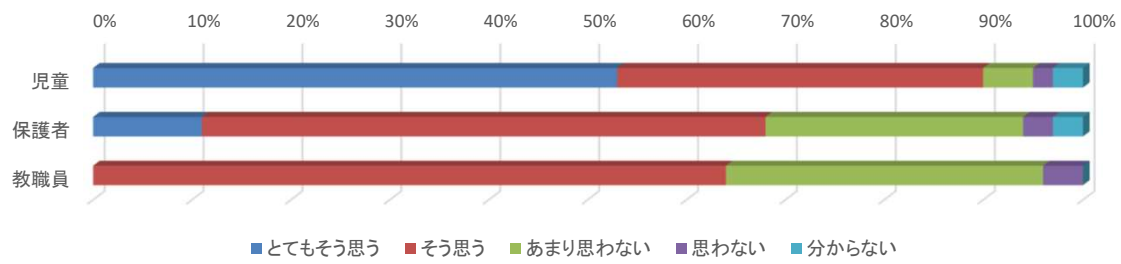
⑨【保護者】【教職員】子供は、自ら問題を見付け、工夫して粘り強く解決しようとしている。
【児童】授業では自分で見つけた「はてな」をじっくり考えている。

	とてもそう思う	そう思う	あまり思わない	思わない	分からない
児童	39%	33%	15%	6%	7%
保護者	5%	36%	44%	8%	7%
教職員	0%	52%	48%	0%	0%



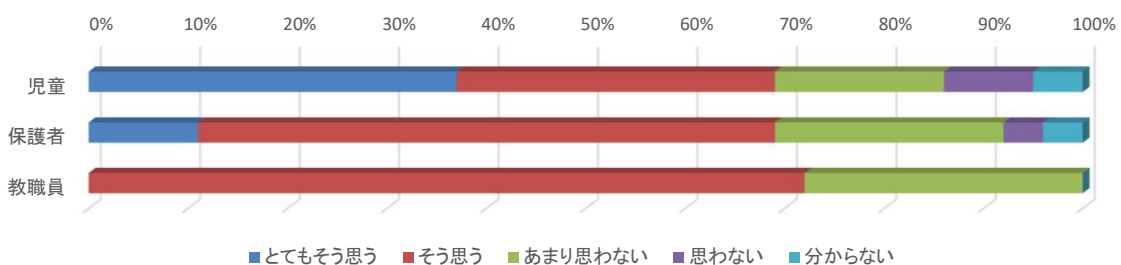
⑩【保護者】【教職員】子供は、相手の話をじっくり聴くことができる。
【児童】友達や先生の話じっくり聴いている。

	とてもそう思う	そう思う	あまり思わない	思わない	分からない
児童	53%	37%	5%	2%	3%
保護者	11%	57%	26%	3%	3%
教職員	0%	64%	32%	4%	0%



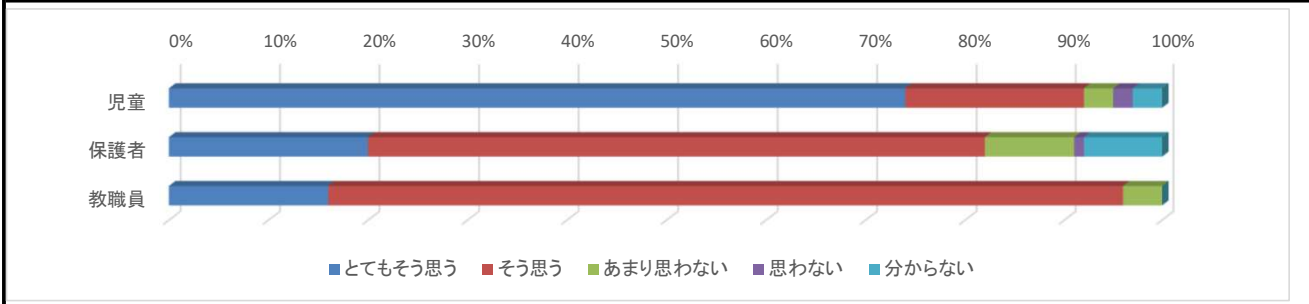
⑪【保護者】【教職員】子供は、自分の考えを伝えることができる。
【児童】自分の考えを友達や先生に伝えられる。

	とてもそう思う	そう思う	あまり思わない	思わない	分からない
児童	37%	32%	17%	9%	5%
保護者	11%	58%	23%	4%	4%
教職員	0%	72%	28%	0%	0%



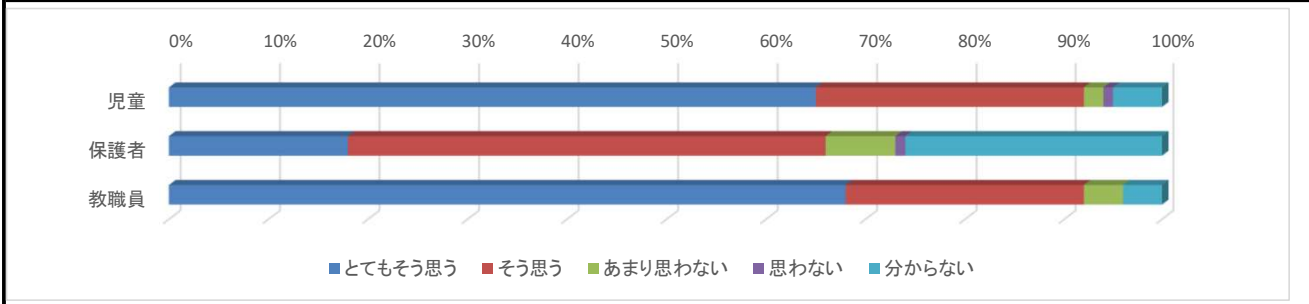
⑫【保護者】【教職員】子供は、友達との学習を楽しんでいる。
 【児童】友達と一緒に勉強することは楽しい。

	とてもそう思う	そう思う	あまり思わない	思わない	分からない
児童	74%	18%	3%	2%	3%
保護者	20%	62%	9%	1%	8%
教職員	16%	80%	4%	0%	0%



⑬【教職員】【保護者】子供は、授業中、パソコンやプロジェクターを使ったり、カメラ機能を使ったりして学習している。
 【児童】授業中、パソコンやプロジェクターを使ったり、カメラ機能を使ったりして学習している。

	とてもそう思う	そう思う	あまり思わない	思わない	分からない
児童	65%	27%	2%	1%	5%
保護者	18%	48%	7%	1%	26%
教職員	68%	24%	4%	0%	4%



〈考察〉

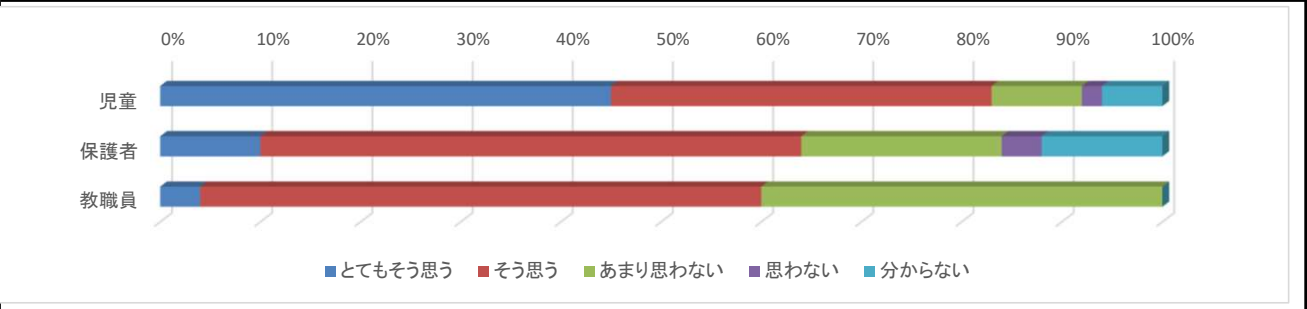
昨年度から、3年生以上で一人1台タブレットを使った授業が行われています。当初は、いろいろな不安もありましたが、設問⑬の結果からも分かるように、今では自分の考えを書き込み、それをクラス全員で共有したり、身体の動きや植物の成長などを写真や動画で記録し繰り返し見たりするなど日常的に使いこなしています。今後も、子供たちとともに、より効果的な使い方を考えていきたいです。

設問⑨の「課題を見付けて粘り強く解決しようとしている」、設問⑩「相手の話をじっくり聴くことができる」について、児童と保護者・教職員の評価に差が見られます。この「課題を見付けて粘り強く取り組む力」や「相手の話をしっかり聴く力」は、これからの予測困難な社会を生きていく子供たちにとって欠かせない大切な力です。保護者・教職員の評価がやや低いのは、子供たちに身に付けてほしい力であるという期待の表れでもあり感じています。この結果を受け止め、日々の授業の中で、意識して支援を続けていきます。

3 学校教育活動について

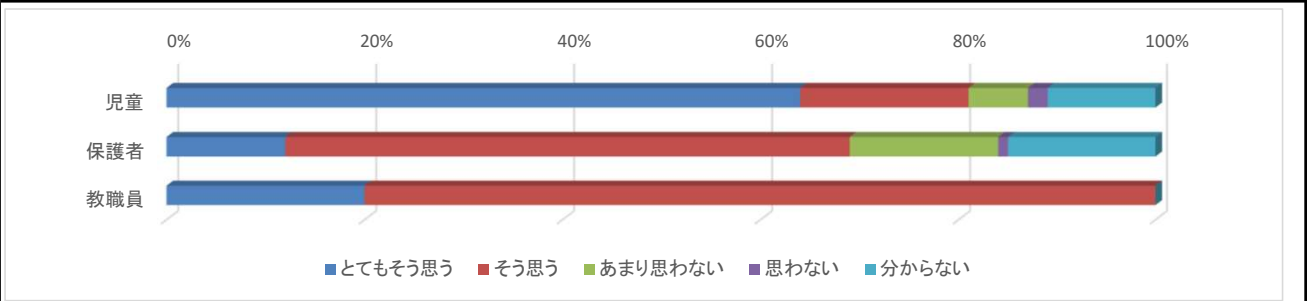
⑭【保護者】【教職員】子供は、「進んで行動 やさしい言葉」を意識して生活している。
 【児童】「進んで行動 やさしい言葉」を意識して生活している。

	とてもそう思う	そう思う	あまり思わない	思わない	分からない
児童	45%	38%	9%	2%	6%
保護者	10%	54%	20%	4%	12%
教職員	4%	56%	40%	0%	0%



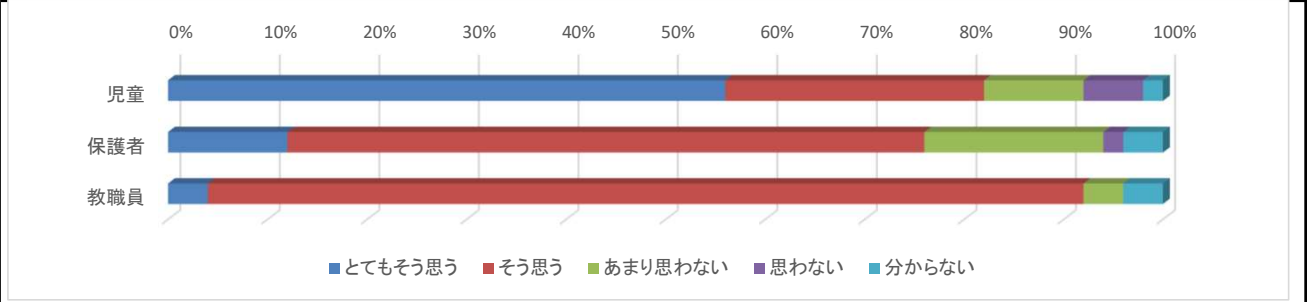
⑮【保護者】【教職員】学校は、子供の悩みや相談に親身になって応じている。
 【児童】先生は、困っていることや、悩んでいることをしっかりきいてくれる。

	とてもそう思う	そう思う	あまり思わない	思わない	分からない
児童	64%	17%	6%	2%	11%
保護者	12%	57%	15%	1%	15%
教職員	20%	80%	0%	0%	0%



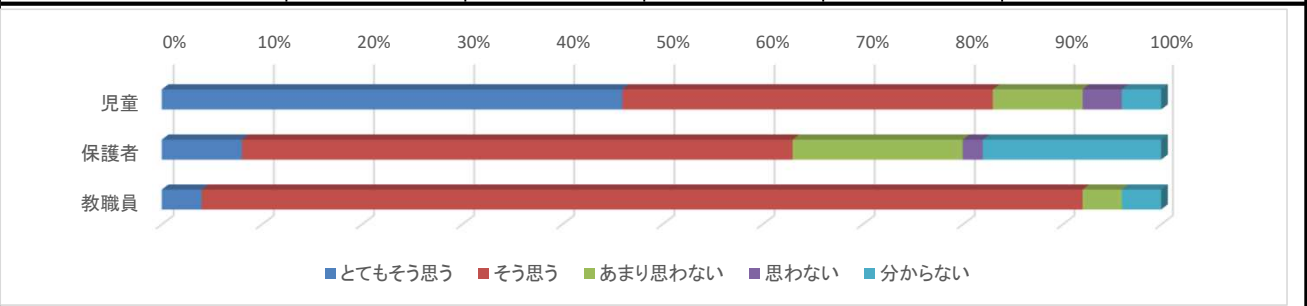
⑯【保護者】【教職員】お便りや担任からの連絡、学校行事への参加等により学校の様子がよく分かる。(情報提供できている。)
 【児童】学校のことを、家でよく話す。

	とてもそう思う	そう思う	あまり思わない	思わない	分からない
児童	56%	26%	10%	6%	2%
保護者	12%	64%	18%	2%	4%
教職員	4%	88%	4%	0%	4%



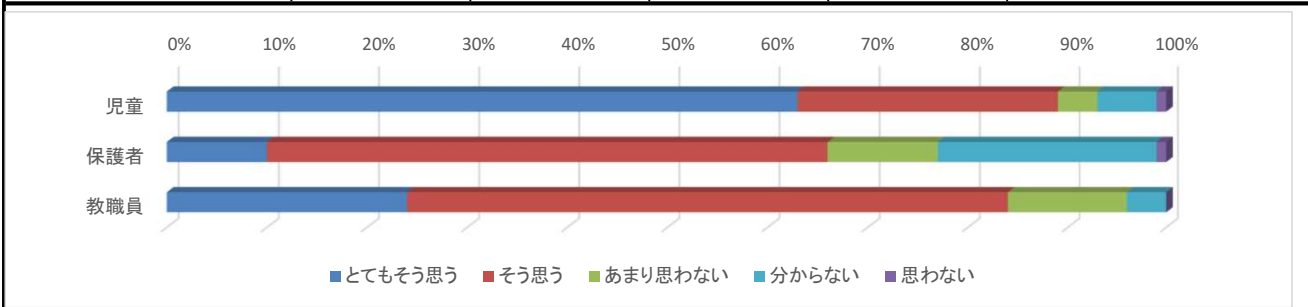
⑰【保護者】【教職員】学校行事はねらいがはっきりしていて、特色ある行事となっている。
 【児童】いろいろな行事に向かって、目標をもって頑張っている。

	とてもそう思う	そう思う	あまり思わない	思わない	分からない
児童	46%	37%	9%	4%	4%
保護者	8%	55%	17%	2%	18%
教職員	4%	88%	4%	0%	4%



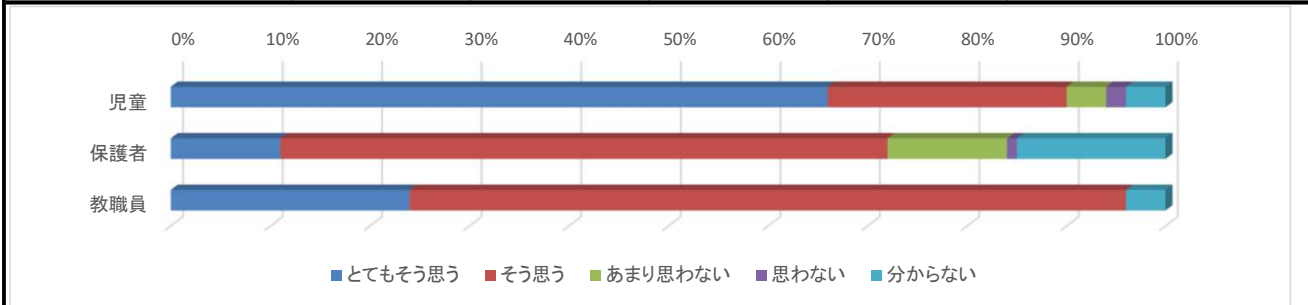
⑱【保護者】【職員】学校は命を大切にする教育を行っている。
 【児童】学校では、命を大切にする授業や活動を行っている。

	とてもそう思う	そう思う	あまり思わない	思わない	分からない
児童	63%	26%	4%	1%	6%
保護者	10%	56%	11%	1%	22%
教職員	24%	60%	12%	0%	4%



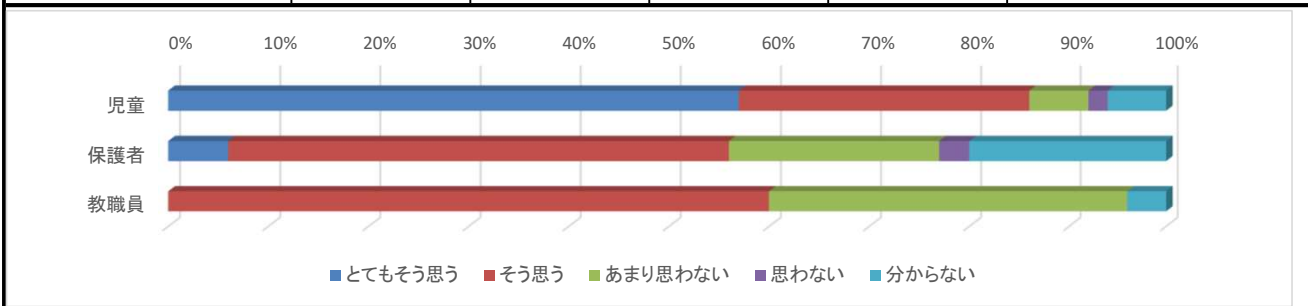
⑲【保護者】【教職員】学校の施設、設備は安全に過ごすことができる。
 【児童】学校は、安全・安心に過ごすことができる。

	とてもそう思う	そう思う	あまり思わない	思わない	分からない
児童	66%	24%	4%	2%	4%
保護者	11%	61%	12%	1%	15%
教職員	24%	72%	0%	0%	4%



⑳【保護者】【教職員】子供は、緊急時に自分の命を守るために適切な判断と正しい行動をとることができる。
 【子供】緊急事態が起きたときに、自分の命を守るため、どうすればよいか考えたり、行動したりすることができる。

	とてもそう思う	そう思う	あまり思わない	思わない	分からない
児童	57%	29%	6%	2%	6%
保護者	6%	50%	21%	3%	20%
教職員	0%	60%	36%	0%	4%



考 察

コロナウイルス感染予防のため、子供たちの学校での様子を実際に見ていただく機会や、担任と情報交換する機会がここ数年減ってしまっているため、設問⑱や設問⑲の保護者評価が低くなっていると捉えています。学校からのお便りはもちろん、必要なことは担任と連絡を取り合いながら情報を共有していただきたいと思います。また、行事等につきましては、コロナウイルスの感染対策を行いながら、少しずつ保護者の方に参観していただける機会を増やしていきます。その際にはぜひご協力ください。

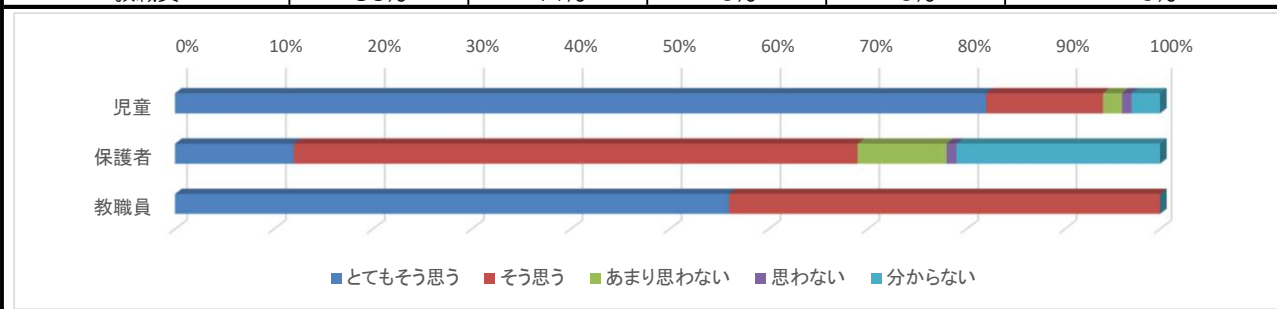
学校の施設・整備に関しては、今年度も、学校の正門やトイレ、児童用の下駄箱など多くの改修を行っております。また、7月にはPTA奉仕活動を行い、側溝の清掃や木々の剪定、トイレ掃除などを行っていただきました。多くの方にご協力いただき、2年間たまっていた汚れがきれいになり、子供たちも大変喜んでいました。古い校舎ではありますが、改修をしたり清掃をしっかりと行ったりしながら、安全に過ごしやすい環境づくりに努めていきたいと思っております。

設問⑳は本年度より追加した項目になります。災害や犯罪などに対して、命を守るために適切に判断し、行動がとれる力が今後ますます求められてきます。学校でも、防災・防犯訓練や総合的な学習の時間、体育科などの学習を通して、またPTAや地域の皆様に協力をいただきながら、大切な命を守るための判断力を養っていきたいと考えています。ご家庭でも、折に触れ話題にさせていただきながら、万が一に備えていただけるとありがたいです。

4 コミュニティスクール、小中一貫について

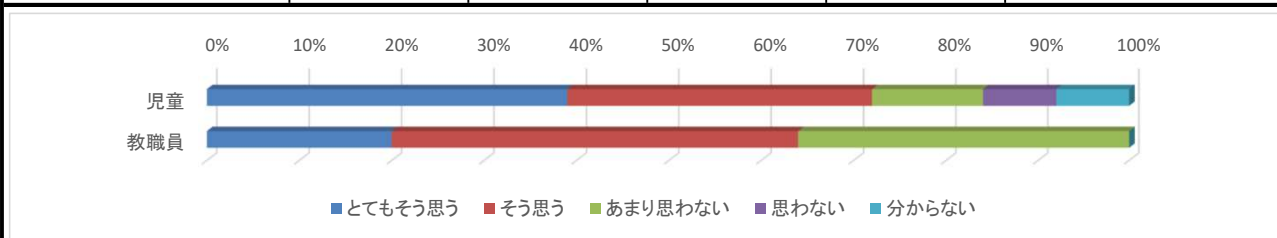
⑳ 地域の皆様や団体の方が子供たちや学校の教育活動に関わることは
 【保護者】【教職員】子供たちにとってよい効果が表れている。
 【児童】あなたにとってよいことですか。

	とてもそう思う	そう思う	あまり思わない	思わない	分からない
児童	82%	12%	2%	1%	3%
保護者	12%	57%	9%	1%	21%
教職員	56%	44%	0%	0%	0%



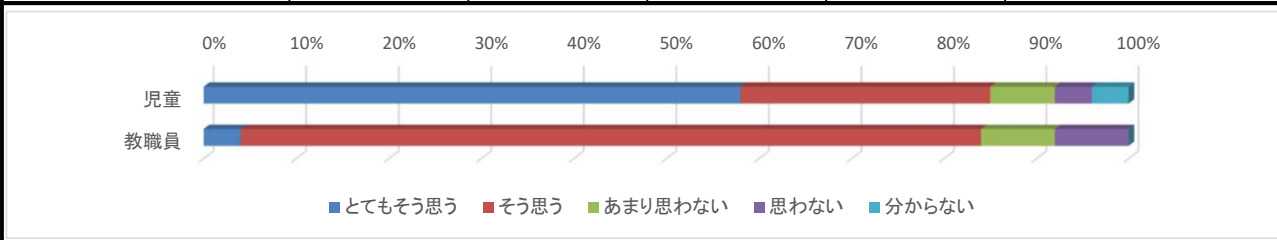
㉑ 【教職員】子供たちは、三校（鷹小、天間小、鷹中）合同で行っているノーメディア週間を意識して取り組んでいる。
 【児童】三校（鷹小、天間小、鷹中）合同で行っているノーメディア週間を意識して取り組んでいる。

	とてもそう思う	そう思う	あまり思わない	思わない	分からない
児童	39%	33%	12%	8%	8%
教職員	20%	44%	36%	0%	0%



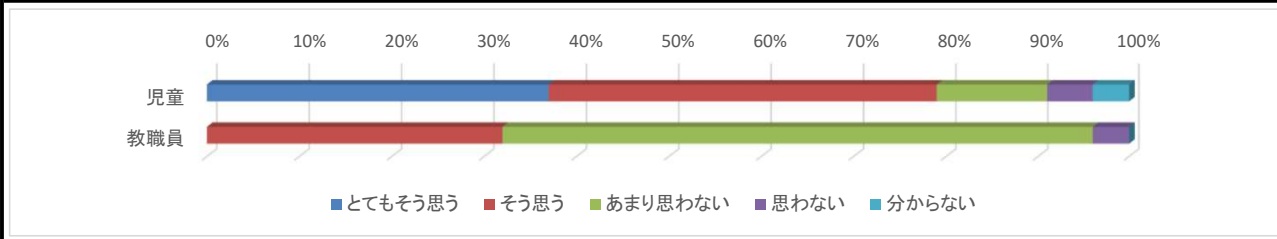
㉒ 鷹小スリースター（明るいあいさつ・きれいな学校・絆を深める）についての質問です。
 【教職員】子供は、明るいあいさつができています。
 【児童】明るいあいさつができています。

	とてもそう思う	そう思う	あまり思わない	思わない	分からない
児童	58%	27%	7%	4%	4%
教職員	4%	80%	8%	8%	0%



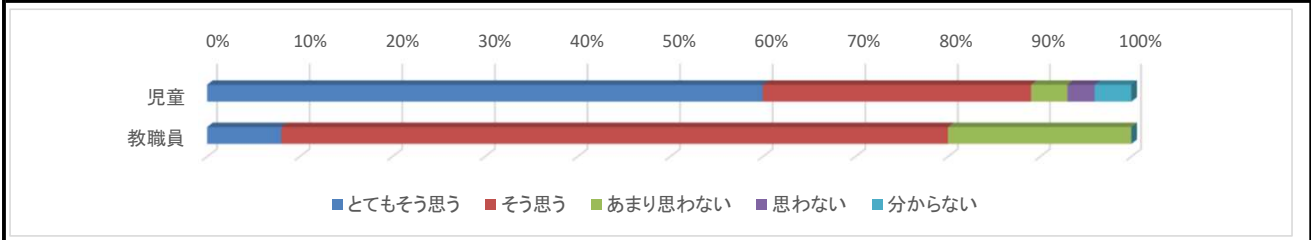
㉓ 鷹小スリースター（明るいあいさつ・きれいな学校・絆を深める）についての質問です。
 【教職員】子供は、きれいな学校にむけて、黙動清掃ができています。
 【児童】きれいな学校にむけて、黙って掃除ができています。

	とてもそう思う	そう思う	あまり思わない	思わない	分からない
児童	37%	42%	12%	5%	4%
教職員	0%	32%	64%	4%	0%



⑳ 鷹小スリースター（明るいあいさつ・きれいな学校・絆を深める）についての質問です。
 【教職員】 子供は、相手の気持ちを考えた言動をとったり、学級の仲間と楽しく過ごしたりと絆を深めることができている。
 【児童】 友達の気持ちを考えたり、クラスの友達と楽しく過ごしたりと絆を深めることができている。

	とてもそう思う	そう思う	あまり思わない	思わない	分からない
児童	60%	29%	4%	3%	4%
教職員	8%	72%	20%	0%	0%



考 察

本年度はCS（コミュニティスクール）4年目となります。子供たちの登下校の見守りや遠足の引率、園芸や学習のお手伝いなど、様々な場面で地域の方のお力をお借りしながら教育活動を進めています。地域の方がボランティアとして協力してくださることで、安心安全に、また充実した学校生活が送れていることは、設問㉑の児童評価の高さから分かります。CSディレクターを中心に「できる時にできるコトを！」を合言葉にCSボランティアの輪が広がってきています。ぜひ、今後も地域の方々とともによりよい学校にしていきたいと思えます。ご協力をよろしくお願いいたします。

設問㉓㉔㉕は鷹岡小スリースターについてです。子供たちにとってスリースターの目標が定着していることがうかがえます。特に、あいさつに関しては、委員会を中心に、呼び掛けを行ったり、あいさつビンゴに取り組んだりしながら全校で意識して取り組むことができていました。その成果が数値にも表れてきたように感じます。一方で、黙動清掃に関しては、児童と教職員の評価に差が見られます。きれいな学校を目指す取組として、児童と教職員と一緒に考え、改めて取り組む必要があると感じました。子供たちに大切にされてきた鷹岡小スリースターが、より輝くようにこれからも取り組みを続けていきたいと思えます。

5 保者の皆様からのご意見、ご質問、ご要望について

コロナ生活が始まり3年です。授業参観を見させていただくと、子供の様子、友達の様子、授業の様子がよく分かります。行事がとて少なくなり、子供の成長を見る機会がなく非常に残念に思っていたので、これからも参観できる機会をできる限り増やしてほしいです。

学校だより・学年だより等で学校の教育活動をお伝えしていますが、やはり「百聞は一見に如かず」であり、実際に見ていただくことが一番であると考えています。また、子供たちにとっても見ていただくことで、より頑張れたり、具体的に褒めてもらえたりする貴重な機会であると思います。今後も予測困難な状況ではございますが、コロナウイルス感染症との付き合い方をしっかり検討した上で、子供たちの学校での様子を見ていただく機会を増やしていきたいと思っております。

最近とても気になるのが、子供同士で話している会話やゲームをしている時に聞く暴力的（死ね、殺すぞなど）な言葉です。まだ、子供なので遊びや冗談のつもりで言っていると思いますが、大人が聞いていてぞっとすることもあります。言葉の重み、命の大切さを今一度改めて学校でも教育、指導していただくと、子供たちの明るい未来の為にも大切なことだと思っております。

教職員も同じ思いです。たとえば、遊びや冗談でも相手を傷付けたり、周囲を不快な思いにしたりします。時には、それが基でトラブルに発展することも少なくありません。一方で、前向きな言葉はみんなを励ましたり勇気付けたりする力があります。本校の重点目標は「進んで行動 やさしい言葉」です。進んで行動とやさしい言葉は一見別々の目標に感じますが、やさしい言葉を掛け合うことで、新しいことにチャレンジしようという勇気が湧いてきます。また、進んで行動し、チャレンジする子は、仲間のチャレンジにも認め励ます言葉が掛けられるようになって考えています。積極的にやさしい言葉が使えるようになることが自分にも周りにもよい効果があり、大切なことであることを折に触れ、繰り返し指導しているところです。言葉を大切に、仲間を大切にできる鷹岡小になるよう取り組んでまいります。

先生も児童も人間です。少なからず相性があると思うので、クラスにこだわることなく、学年、学校全体で子供たちを見守っていただけたらと思う時があります。

人間関係は、学校生活を送る上で重要なことです。毎年、担任やクラスが変わるため、よくも悪くも新しい人間関係を築いていく必要があります。ただ、学級は閉ざされたものではありません。教職員は学級の子供たちだけでなく、学級・学年の枠を超えて子供たちの成長を支援していきます。子供たちには、何か話したいことがあれば、他のクラスの先生でも、級外の先生でも、スクールカウンセラーの先生でも誰に話してもいいんだということを繰り返し伝えていきます。合わせて、保護者の皆様も、何かお気付きの点やご不明な点がありましたら、誰でも構いませんので遠慮なくご相談ください。

※その他、保護者の皆様からたくさんの御意見や御要望をいただきました。各部会や職員会議などで検討をしています。後期から取り組むべきことは早速取り組み、今後の教育活動への指針となる御意見については、検討の上、来年度の教育課程へ生かしていきたいと考えています。ありがとうございました。